

稲作情報 (中干し編)

令和5年6月9日
JA福井県 坂井営農経済C
坂井農林総合事務所

**深水で莖数不足の圃場は浅水管理をしましょう！
適期中干しにより、生育過剰を防ぎましょう！**

莖数過剰となると、籾数が多くなり、登熟期間の高温や日照不足で品質や収量が低下します。適期中干しを開始し、莖数過剰を防止しましょう。

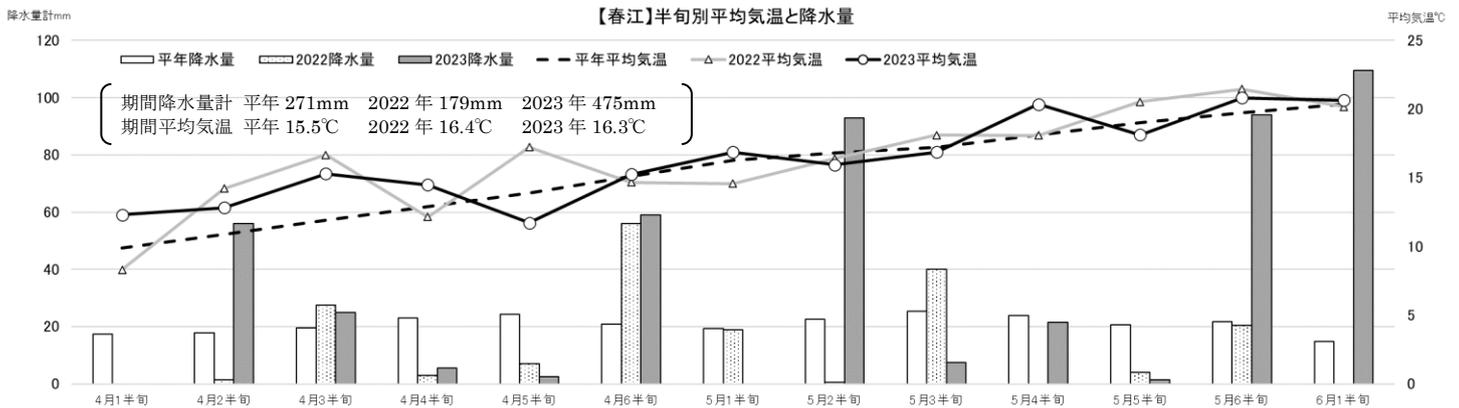
生育状況

今年の4月・5月は平年より気温が高く、降水量も多い気象条件でした。特に5月下旬から大雨がたびたび発生したため、深水となっている圃場が多く見られます。移植ハナエチゼンは昨年並みの生育で推移していますが、移植コシヒカリと直播は深水の影響などで昨年よりも莖数が不足気味で推移しています。

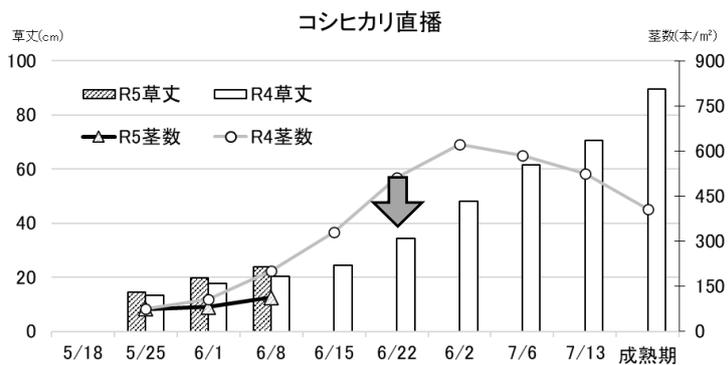
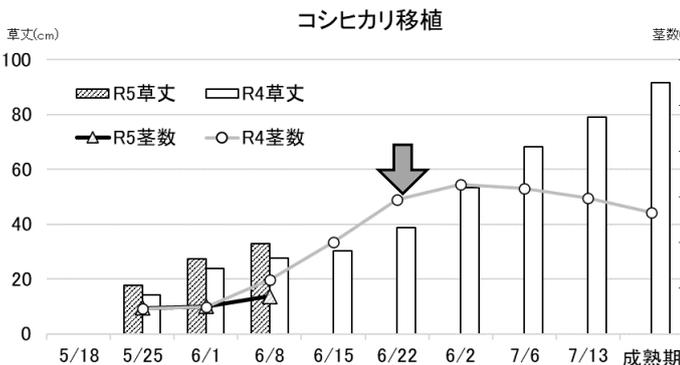
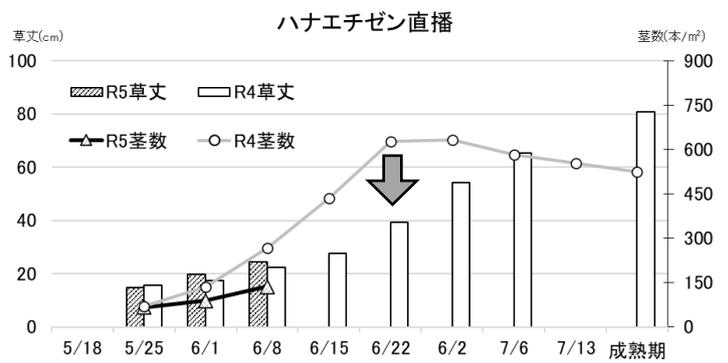
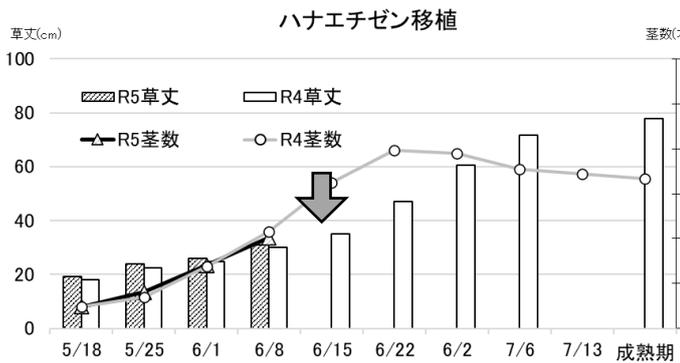
莖数不足の圃場では浅水管理とし莖数確保に努めてください。

また、一部圃場で藻類の発生が散見されます。発生が多い場合は中干し前に除草剤で防除しましょう。

ハナエチゼンは、6月14日頃には中干しの目標莖数に到達する見込みです。



《管内調査データ》 (↓ は中干し時期)



溝 切 り

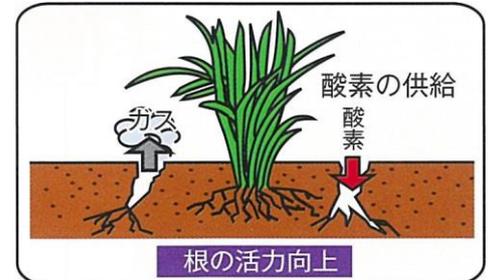
中干し後の水管理や、長雨時の排水、フェーン現象時のかん水を迅速に行うため、軽い田干しで土を固めた後、溝切りを行いましょう。

溝切りの間隔は3m(湿田)～5m(乾田) 末端は排水口へ接続しましょう。

中 干 し

●中干しの目的

- ・6月後半以降に出る過剰な分けつを抑制する。
- ・土中に酸素を供給し、根腐れ防止と根を下向きに伸ばす。
- ・田面を固くして、収穫直前まで入水を可能にする。



●中干し開始時期の目安

移 植 : 【60株植え】 茎数が1株当り16～20本 (1㎡当り350～400本)

【50株植え】 茎数が1株当り20～26本 (1㎡当り350～400本)
になったら開始

直 播 : 茎数が1㎡当り100本 (1㎡当り300本) になったら開始

●中干しの程度

土壌タイプ	中 干 し の 程 度	
湿 田	やや強め	足跡がつく程度
乾 田	弱 め	足跡に水が残る程度
砂質田	無～弱め	中干しせずに、 間断通水 (4～5日に1回入水)



※中干しは幼穂形成期直前まで実施しましょう。

中干しは、圃場を完全に乾かすことではありません。降雨がない日が続くときは、大きなのヒビが入らないようにしましょう。

- 茎数が不足しているところでは、日中2～3cm水深の浅水管理で、分けつ確保に努めましょう。